

令和3年度第2回富良野市中小企業振興促進審議会議事録

日 時) 令和4年2月2日(水) 午前10時00分～午前11時00分

場 所) ~~コンシェルジュプラザ2F大ホール~~ 【※コロナ禍のため、オンライン開催に変更】

出席委員) 平沢幸雄、大玉英史、杉谷久己、吉田幸生、倉西裕明、奈良定雄

事務局) 川上部長、上堀主幹、増田

1. 開会(上堀主幹)

- ・ 本日は、審議委員11人中6人が出席をいただいている。富良野市中小企業振興条例施行規則第16条の規定に基づき、会議が成立していることを報告する。

2. 辞令交付(審議委員の任期満了に伴う)

- ・ 辞令については後日送付する。

3. 市長挨拶(代理:川上経済部長)

4. 議 事 議案第1号 会長の選出について

- ・ 委員の互選により、審議会の会長を平沢委員とする。

5. 会長挨拶(平沢会長)

6. 報告事項

(事務局より説明、特に意見なし)

7. 議 事

【議案第2号 富良野市中小企業振興条例に基づく対策事業の制度改正について

(富良野市中小企業振興総合補助金制度改正について)

(富良野市融資制度改正について)】

(事務局より説明、特に意見なし)

答申について

(平沢会長)

- ・ 特にご意見が無いようであれば、今回の制度改正について、この素案のとおり答申すること
でよろしいか。

(委員全員了承)

(平沢会長)

- ・ それでは本審議会の審議を経て、改正案のとおり答申することとする。

8. その他

(事務局より「富良野市産業経済構造調査報告書」について説明、以下意見のみ記載)

(倉西委員)

- ・ 事業者全体として、コロナ禍により売上が伸びない状況であり、経費を削減し事業継続を図っている。
- ・ 令和2年度無利子融資の利用者の8割が元金償還スタートとなるため、資金繰り困難が懸念される。
- ・ 金融機関としては、事業者とともにアクションプランを考える（やることやらないことの仕分け）などの、本業支援が必要と認識している。
- ・ 調査結果の「新型コロナウイルスの影響への有効な対策が見つかっていない事業者」が30%というのが気になる。事業意欲の喪失にならないよう金融機関として相談体制の確立を進めたい。

(吉田委員)

- ・ 市内での経済循環を考えることが重要。

(杉谷委員)

- ・ 住宅リフォーム補助金の利用が抽選になっている。枠が増えれば消費向上のきっかけになるし、市内事業者の事業拡大にもなる。市内経済の好循環につながることから、枠の増加の検討を願いたい。

(大玉委員)

- ・ 今回の調査結果をプロジェクトチームなどで全庁的に共有し、市の経済向上に反映するべき。
- ・ 市の自給率が53%と低めであることから、経済の市内循環をいかにまわすか考えなければならない。
- ・ 消費の向上・産業の拡充がまちづくりにつながることから、市全体で取り組むべき課題であり、会議所としてもアイデアや提言を出していきたい。

(平沢会長)

- ・ 本審議会については、これで閉会とします。

9. 閉会（午前11時00分終了）